

柱の杜年表

年代	出来事
約 530 年前	灰色の龍復活。旧文明が崩壊する。ほぼ同時期、神柱が出現。
468 年前 / 新暦 1 年	東京で政権が樹立。新たな暦が制定される。
96 年	九州上空で封印の綻びが生じる。のち、柱の杜で初の鎖蟲出現。ほぼ同時、初代柱の守誕生。神柱の防衛を開始する。
97 年 ~ 98 年	九州で鎖蟲が数度出現。その度に柱の守が自爆に近い形で鎖蟲の撃退を行う。
99 年	旧政権の下部組織として、防衛軍が設立。柱の守とともに防衛戦に臨むも死傷者多数。
146 年	近畿、東北地方でも鎖蟲の出現が確認される。柱の守不足により戦況悪化。
150 年頃	九州北部、東北西部の複数の神柱が崩壊。柱の守用の武器が開発されるも目立った戦果なし。変わらず自爆戦法が取られる。
162 年	プロトタイプ誕生。
164 年	第二世代柱の守誕生。武器の使用に適合する。柱の守の死亡率が低下。同時期、プロトタイプが前線から離脱。
165 年	各地の戦況が好転。人々は被害の少ない地域に移住し、大規模な都市の建設を開始。同時、鎖蟲襲来に備えた防衛兵器の開発が進む。
201 年	東京、京都、広島に大規模基地が成立。
250 年頃	九州、近畿、東北を中心に年に数度の防衛戦が行われる。何度か敗北と撤退を繰り返す、人類の勢力圏が微減。
270 年頃	第三世代柱の守誕生。柱の守同士での接続が可能となる。集団戦闘能力が大きく向上。戦況が安定化し、人類の勢力圏の変動が一時的に停止する。
420 年頃	各地で鎖蟲の出現件数が大幅増加。被害の少なかった関東でもホットスポットが確認される。
426 年 4 月	伊勢基地にてマツザカ誕生。
445 年 3 月	東京基地にてアサヒナ誕生。
445 年 7 月	甲府盆地に大規模な鎖蟲の群れが出現。東京防衛軍が対処を開始。複数の神柱を破壊されつつも善戦。同時期、関東平野でも複数の群れが出現。東京方面への侵攻を開始。残留部隊が埼玉南部で迎え撃つも後退（東京撤退戦）。東京の放棄を余儀なくされる。
445 年 8 月	東北地区からの援軍により東京撤退戦終結。東京基地は鎌倉と市原に分かれ、うち鎌倉で新たな大規模基地の建設が始まる。同時、旧政権の機能停止。首都が熊野に移され、防衛軍に政権が委譲される。
459 年 12 月	九州に巨大なヘビ型の鎖蟲出現。個体名「筑肥大蛇」と命名される。筑肥大蛇により九州中部壊滅。筑肥大蛇討伐のための特別部隊が広島防衛軍を中心に結成される。のち、九州決戦開戦。
460 年 1 月	九州北部壊滅により九州決戦敗北。続けて関門海峡海戦始まる。多大な犠牲を払い、本土到達前に筑肥大蛇撃滅。
461 年	柱の守の力や鎖蟲の素材を活用する新技術が確立される。
462 年	第四世代柱の守誕生。基礎能力がさらに強化され、武器適性が最新化される。
468 年 6 月	甲府盆地奪還作戦開始。